

NHK
BUNKEN

Broadcasting Culture Research Institute

文研

の

こ

の

こ

の

こ

フォーラム2018

テレビの未来
メディアの新地図

会場：千代田放送会館（千代田区紀尾井町 1-1）

3/7 [水]

A 13:00 ~ 15:00

シンポジウム 欧米メディアのマルチプラットフォーム展開

B 15:20 ~ 16:50

トランプ時代のアメリカと日本
～日米同時世論調査から考える～

3/8 [木]

C 10:00 ~ 12:10

ワークショップ 大学生たちと考える“テレビ”の未来
～スマホ時代のテレビの可能性～

D 13:30 ~ 15:00

これからの“放送”はどこに向かうのか？
～民放連会長にきく～

3/9 [金]

E 10:00 ~ 12:00

ワークショップ データから読み解くテレビドキュメンタリー研究

F 13:30 ~ 14:10

放送中の美化語を考える
～視聴者とアナウンサーへのインタビュー調査から～

G 14:30 ~ 16:10

シンポジウム 『きょうの料理』60年の歴史とこれから
～“老舗”番組から考えるコンテンツの未来～

文研HPにて2月2日(金)より申し込み受付(参加無料)
<http://www.nhk.or.jp/bunken/forum>



先着順で定員に達したプログラムより募集を締め切ります。

主催：NHK放送文化研究所

3/7 [水]

A シンポジウム 13:00～15:00

欧米メディアのマルチプラットフォーム展開

欧米の放送局は、ニュースや番組コンテンツをネットやソーシャルメディアを活用して多面的に展開しています。欧米メディアのネット戦略を探り、放送・通信融合時代のテレビはどうあるべきか、海外からのゲストと議論します。

ゲスト：欧米メディア関係者など

報告：田中孝宜（NHK放送文化研究所 メディア研究部副部長）／報告・司会：大塚 敦（NHK放送文化研究所 メディア研究部研究主幹）

B 15:20～16:50

トランプ時代のアメリカと日本 ～日米同時世論調査から考える～

アメリカのトランプ政権発足から1年。NHKが実施した日米同時世論調査からは、大統領への不安と期待が交錯する現実が見えます。ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏と国際部デスクを交え、アメリカと日本の今後を考えます。

コメンテーター：モーリー・ロバートソン（ジャーナリスト）／石井勇作（NHK報道局 国際部副部長）

報告：政木みき（NHK放送文化研究所 世論調査部主任研究員）／司会：外池武司（NHK放送文化研究所 世論調査部副部長）

3/8 [木]

C ワークショップ 10:00～12:10

大学生たちと考える“テレビ”の未来 ～スマホ時代のテレビの可能性～

スマホの普及で大きく変わったメディア環境。今、「テレビ」の役割は何が変わり、何を果たすべきなのでしょうか。世論調査などの最新データから、これからの「テレビ」の価値を大学生たちと探ります。

コメンテーター：渡邊久哲（上智大学文学部新聞学科教授）／丹羽美之（東京大学大学院情報学環准教授）

発言者：メディアを学ぶ大学生のみなさん

報告：平田明裕（NHK放送文化研究所 世論調査部主任研究員）／行木麻衣（NHK放送文化研究所 世論調査部研究員）

進行：保高隆之（NHK放送文化研究所 世論調査部研究員）

D 13:30～15:00

これからの“放送”はどこに向かうのか？ ～民放連会長にきく～

映像・情報メディア環境の変化は加速化し、去年秋からは電波制度改革の議論も開始しています。他メディアでは果たせない放送事業者の役割は？民放とNHKの関係のあり方は？将来のあるべき姿は？民放連会長と考えます。

ゲスト：井上 弘（日本民間放送連盟会長）／報告・聞き手：村上圭子（NHK放送文化研究所 メディア研究部主任研究員）

3/9 [金]

E ワークショップ 10:00～12:00（会議室）

データから読み解くテレビドキュメンタリー研究

テレビドキュメンタリーの基本的な特徴を、ロケ現場で生まれた映像・音声と、そこから切り離された場で生まれた映像・音声の時間的分量の比率から読み解きます。分析対象は『ドキュメント72時間』『NHKスペシャル』など。

問題提起者：宮田 章（NHK放送文化研究所 メディア研究部上級研究員）

司会：原 由美子（NHK放送文化研究所 メディア研究部特任研究員）

F 13:30～14:10

放送の中の美化語を考える ～視聴者とアナウンサーへのインタビュー調査から～

「お天気」や「ご褒美」など主に名詞に「お」や「ご」がついて、物事をきれいに述べるときに使われる語を「美化語」と言います。放送の中での「美化語」はどうあるべきかを考えます。

報告：滝島雅子（NHK放送文化研究所 メディア研究部主任研究員）

G シンポジウム 14:30～16:10

『きょうの料理』60年の歴史とこれから ～“老舗”番組から考えるコンテンツの未来～

放送開始から60年。『きょうの料理』の歴史をひもとくと、日本の家庭の食卓の進化と番組が果たした役割が見えてきます。近年はネット展開にも積極的な“老舗”番組の取り組みから、未来のコンテンツの姿を考えます。

ゲスト：土井善晴（料理研究家）／鈴木謙介（関西学院大学社会学部准教授）／河村明子（『きょうの料理』ディレクター）

報告・司会：大野敏明（NHK放送文化研究所 メディア研究部副部長）